

## 東北師範大学留学レポート 10、11月分

理工特別コース 数理分野

江角匠平

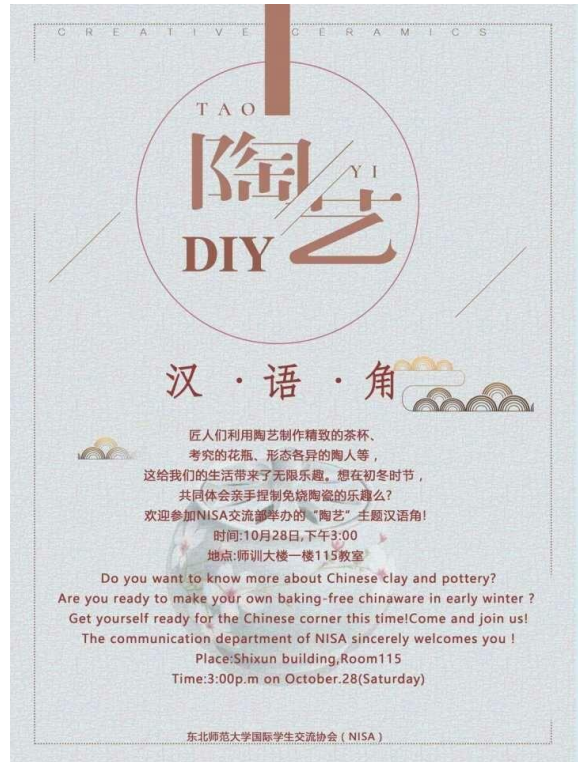
中国の長春に来て3カ月が経ちました。ちょっと前から、日中の気温でも0度を上回らない日が続き、冬が始まったばかりですが、すでにキャンパスにある大きな湖が凍っています。中国に来てから毎朝6時過ぎに起床していますが、最近は6時でもまだ太陽が出ていないのであまり気持ちのいい朝ではありません。昼は短く、16時を過ぎると一気に暗くなり始めます。そのため、17時半からの講義があるときは夜に出かけるような状態です。また、頻度は多くないですが、空気が汚い日は昼であろうと少し薄暗いです。これからどんどん昼が短くなるのだと思うと、少し恐ろしいです。

私は多くの講義を受講していて、毎日3コマから4コマの授業があります。1コマは90分で、講義と講義の間は30分の休憩があります。最初の講義は朝8時に始まり、最後の講義は19時に終わります。そのため、一日中講義がある日はかなり疲れます。私の専門は数学なので、講義の8割は数学です。学びたい講義を選択して受けていますが、学びたいという気持ちだけではなかなか難しいのが現状です。前提とされている内容について勉強したことがない場合はその勉強と講義の復習をしなければなりません。加えて課題も課されるので、正直、うまくいってないと感じることは多いです。それでも、島根大学では学べない内容も多いので、毎朝講義に行くのが楽しいです。講義自体は島根大学よりも早く進み、毎回の内容がかなり多く感じます。それでも同じ講義を受けている学生たちはそのような感じを全く見せません。本当にすごい大学に来たなと感じると同時に、すごくいい経験をしているなとも思います。数学の講義以外には中国語の講義にも出席しています。中国語の講義はそんなに難しくないので、30分あれば予習は完璧です。しかし、最近、数学を中心に勉強をしている分、中国語のレベルがあまり上がっていないようにも感じます。もっと中国語を上達できるように頑張りたいです。

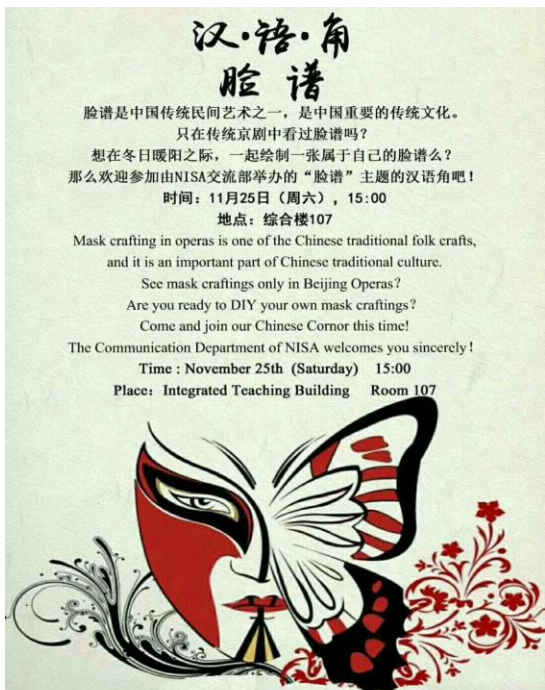
中国に来たからには中国文化を体験したいと思い、祝日はそれなりに楽しんでいます。この2カ月では少し前ですが、10月4日の中秋節に月餅を食べました。いろんな種類があり、たくさん買ってたくさん食べました。また、お世話になっている人に月餅を送ることもあるということだったので、留学に来てからいろいろとお世話になっている友達に月餅を送りました。さらに、東北師範大学では学生が主体となった国際学生交流協会という組織があり、ほぼ毎月、漢語角という文化体験活動を企画してくれます。画像①、②、③はその活動のポスターです。この活動では、中国文化を体験できるのはもちろん、中国人学生や各国の留学生と交流ができるのでとても楽しいです。この活動のほかにも、画像④のように元旦パーティーなども企画してくれています。この活動に参加するたびに友達が増えるので、これからも積極的に参加しようと思いました。



画像① 茶文化



画像② 陶艺体验



画像③ 京剧のお面づくり



画像④ 元旦パーティー